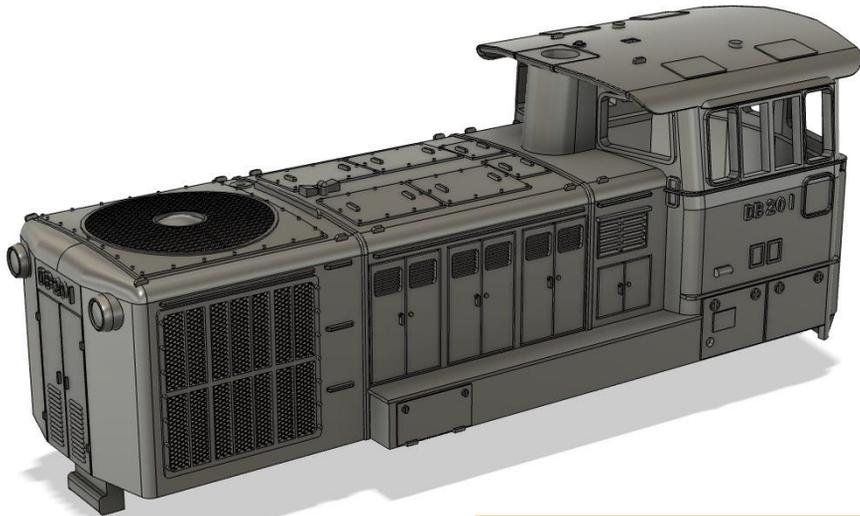


# チビDLタイプ 組み立て説明書



## 別途購入品

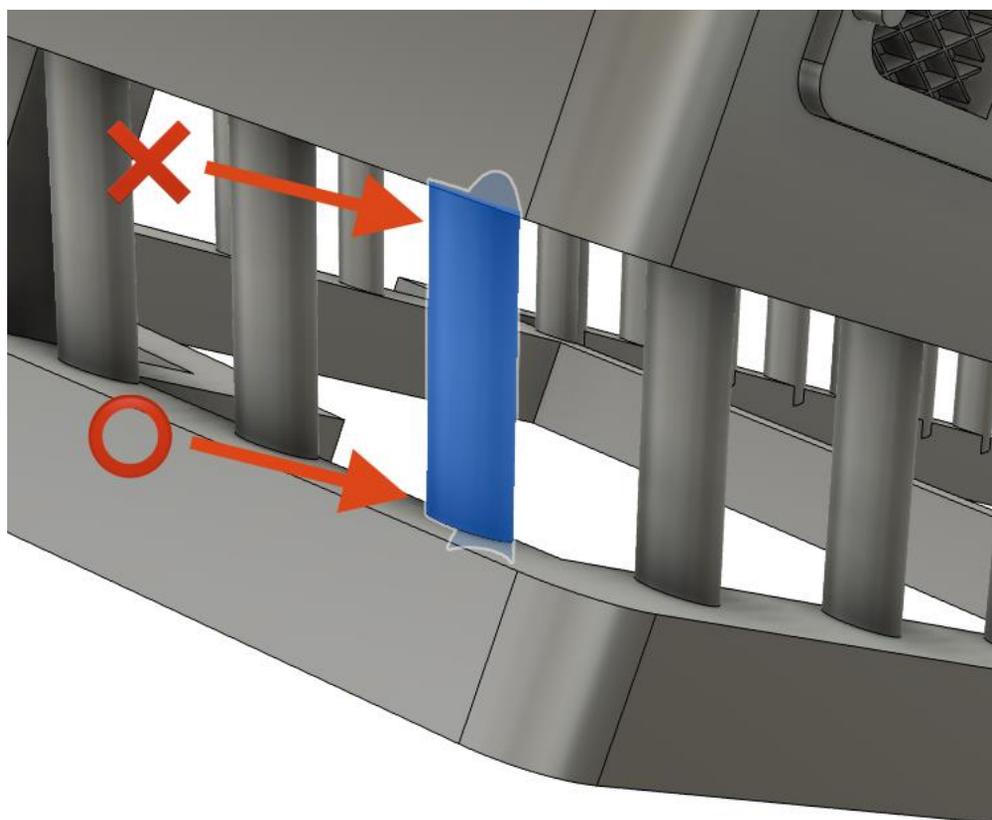
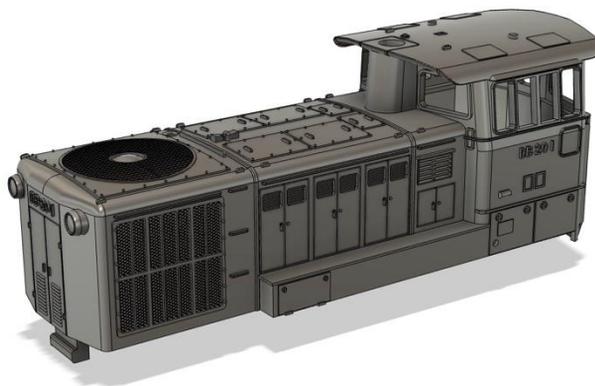
- 動力装置  
KATO ポケットライン チビ凸用  
動力ユニット  
[\(リンク\)](#)
- ホイッスル  
KATO Z03-1034 など  
機関車用のホイッスルならどれ  
でも可能

## 諸注意

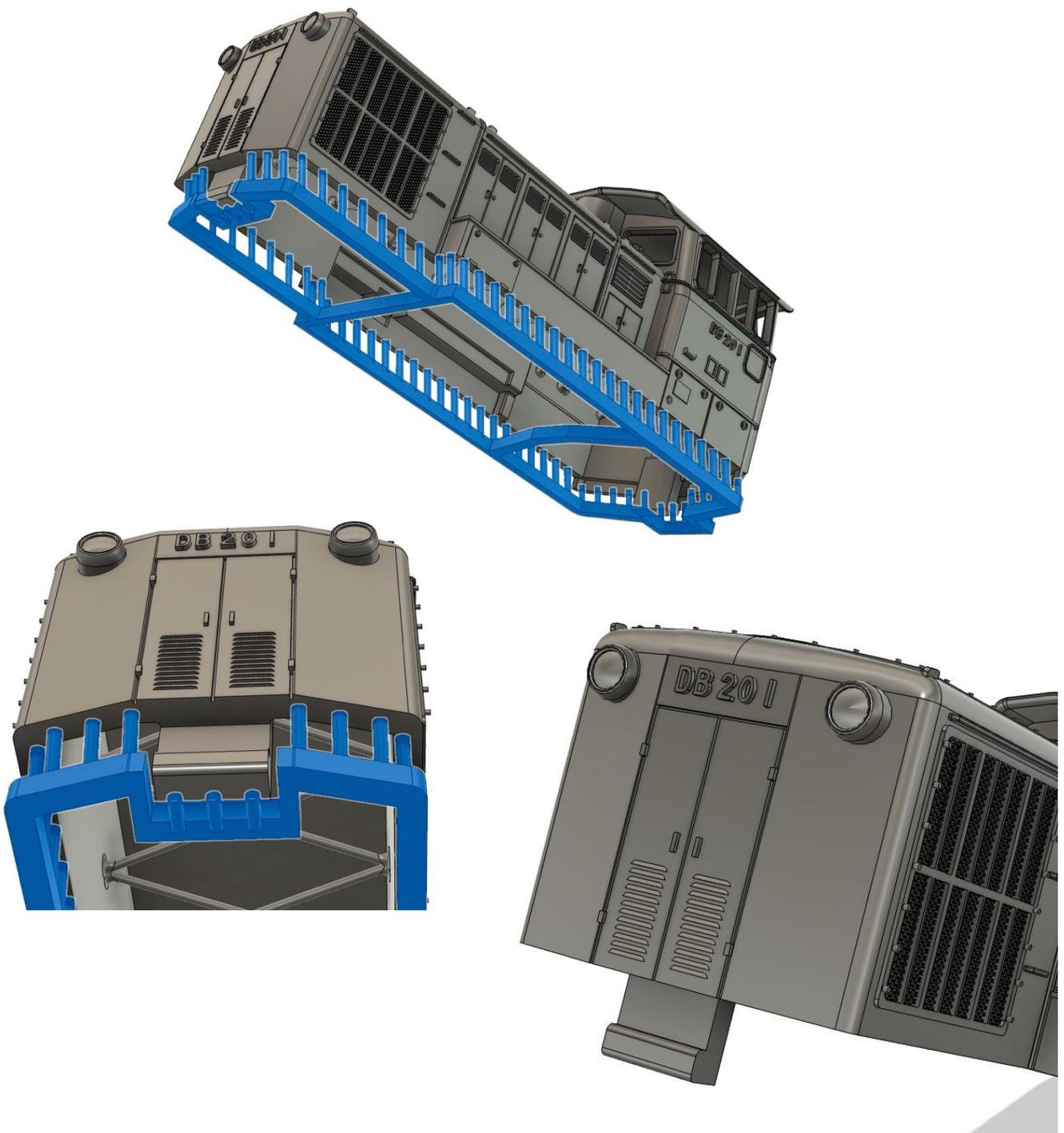
- この模型は3Dプリンタを使用した水洗いレジンにて出力した物です
- 洗浄、乾燥後に2次硬化を行ったあと、大まかなサポートを切除し場所によって多少やすりをかけています
- 残っているサポート切除痕は取り除いて下さい
- その際はよく切れるナイフやニッパで切断して下さい
- 超音波カッターを使用すると効率よく作業できます
- 刃物を使う際は事故に気をつけてください
- 細かなパーツは予備としてパーツを入れている場合もありますが飛ばして無くさないよう注意して下さい

パーツリスト

- 車体

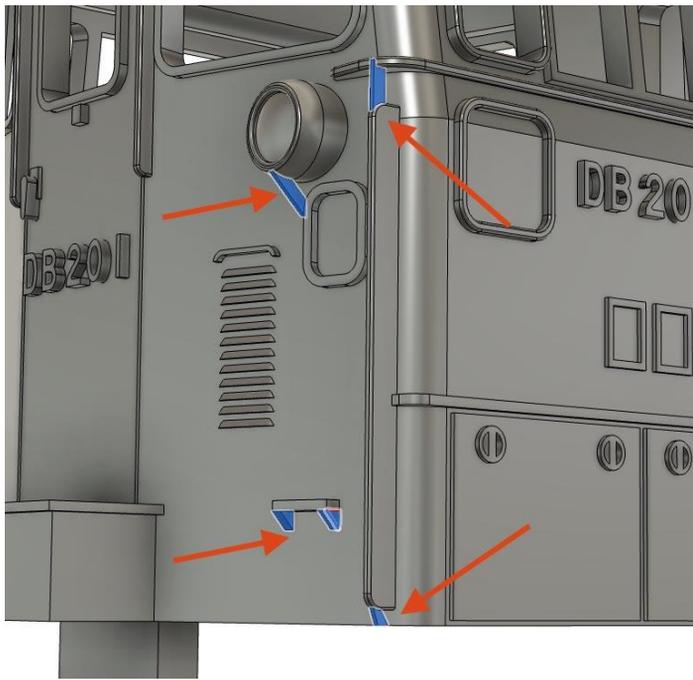
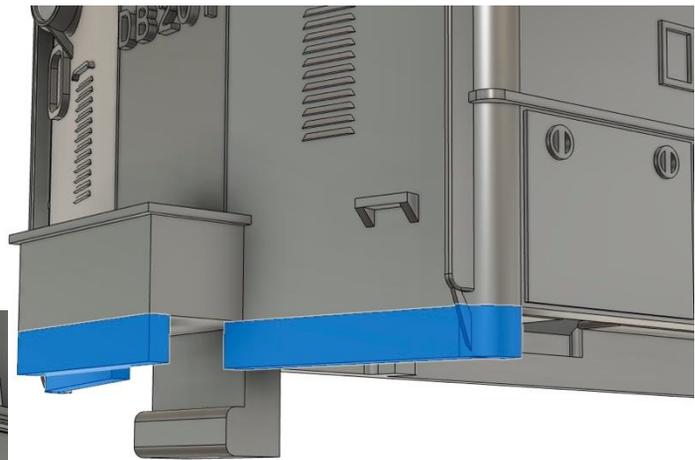
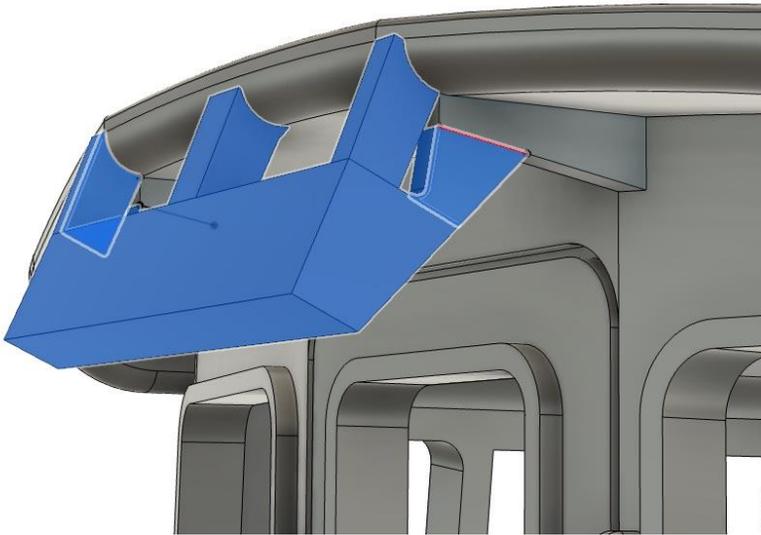


下部パーツ保護用のサポートが残っています  
切断するコツは車体寄りの根元(X印)ではなく離れた位置  
(○印)を切断すると車体へのダメージを減らす事ができます  
その後車体側を切断しましょう



前面には動力装置への取り付け用のフックがあるので注意して切断して下さい

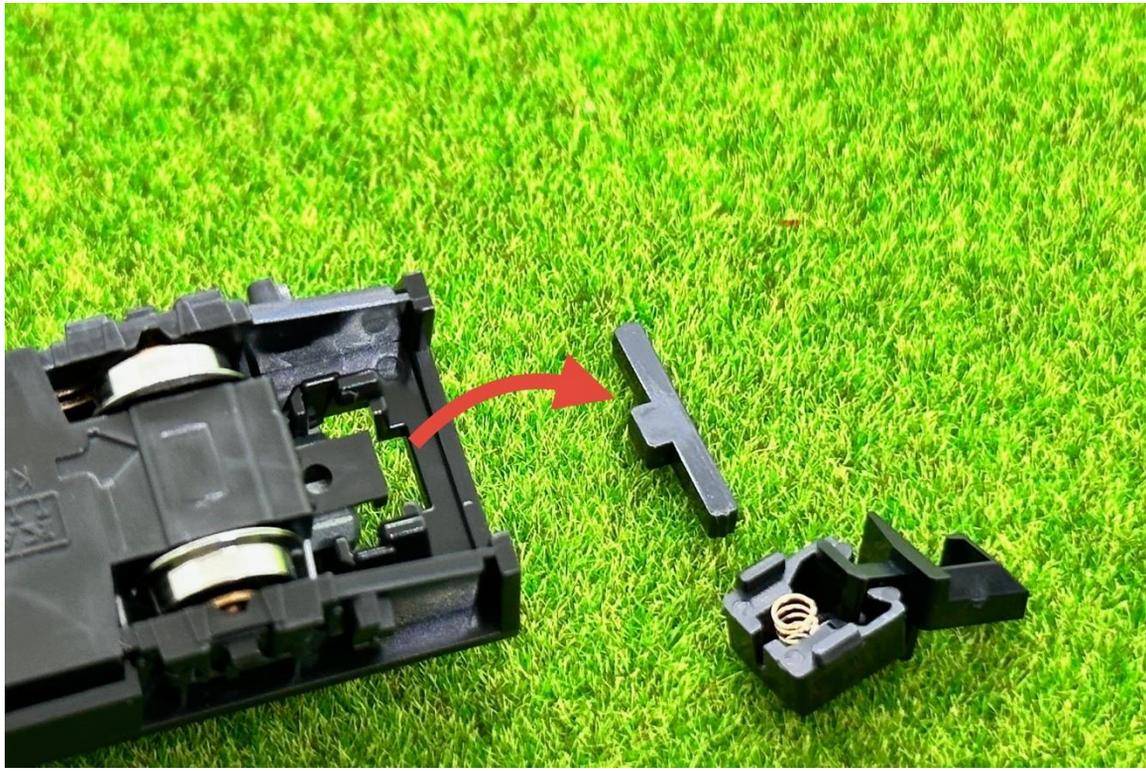
ホイッスルは屋根の四角い穴に取り付けて下さい  
塗装した際の厚みを考慮しているので取り付けは塗装後をお勧めします  
ボディ裏側から接着すると綺麗に仕上がります



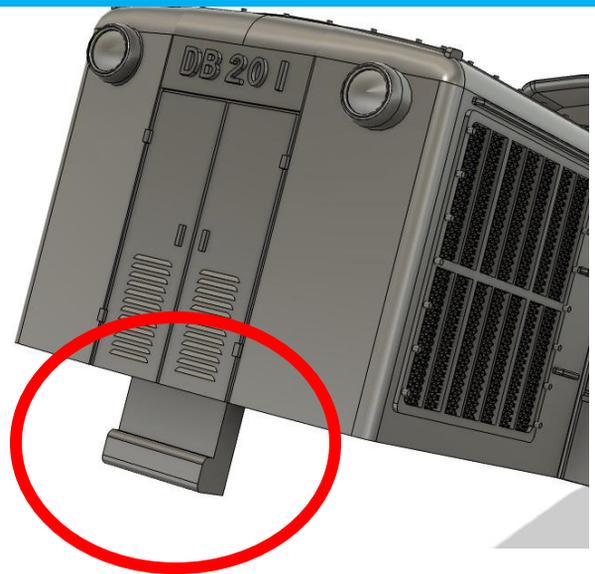
青い部分は保護用のサポートパーツ  
になっています  
削った後ヤスリで整えて下さい

車体についている矢印のサポートパーツ  
は目立たないのでそのままでも構いません  
気になる方は切り取る事で完成度が上  
がります

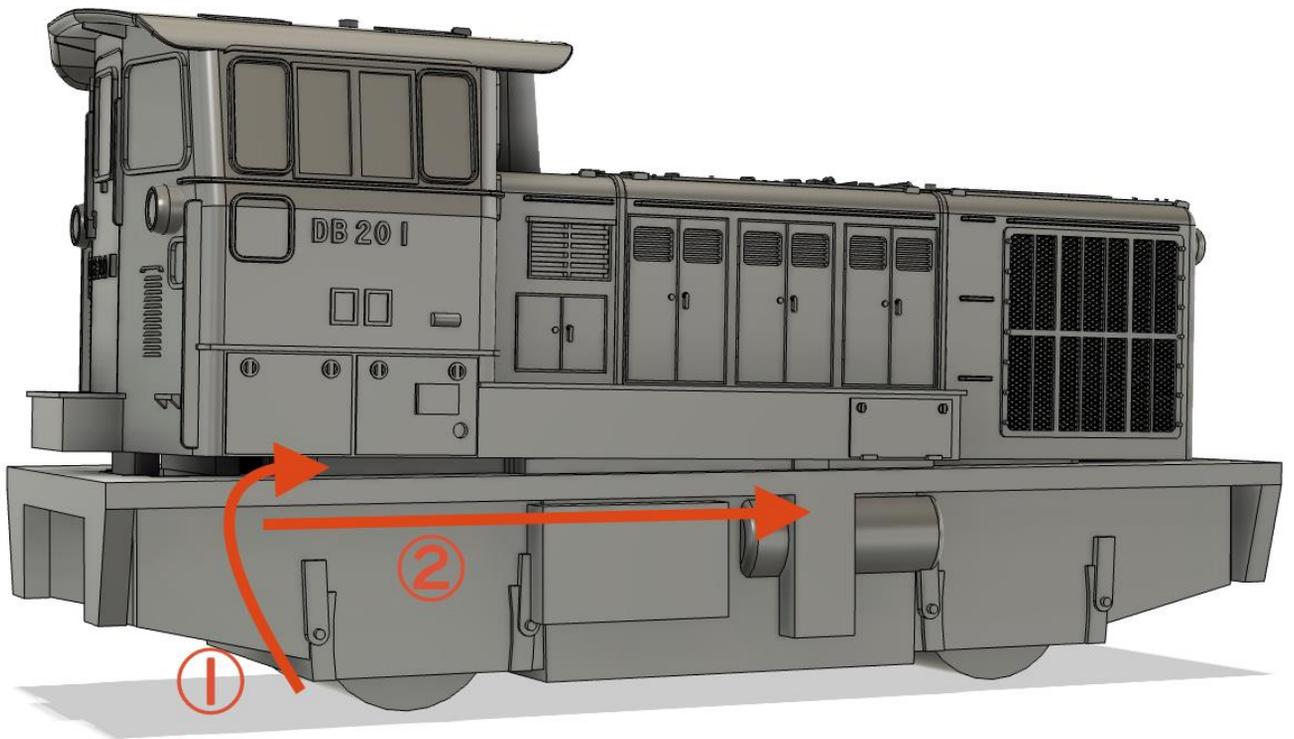
車体内側のサポートはこちらで切り取っ  
てはいますが動力装置へ被せた際に  
引っかかることなどあれば整えて下さい



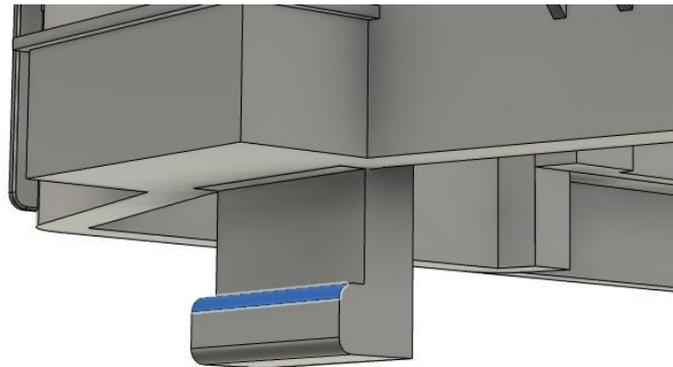
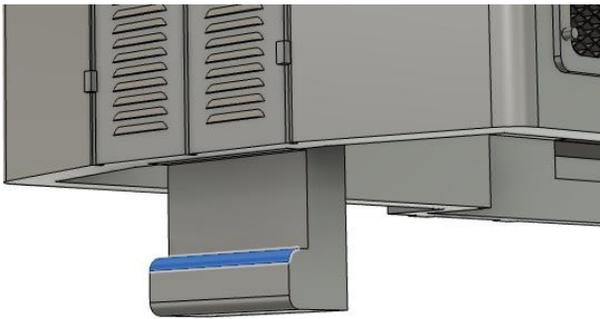
カプラーホルダーの下に凸形のスペーサーがは取り付けられている場合はボディがはまらないので取り外してください  
ボディを取り付けると爪がスペーサーの代わりになります  
ボディを取り付けてからカプラーホルダーを取り付けましょう



古いタイプの動力ユニットには爪が引っかかるものがあります  
その際は爪を少しずつ削って調整してください



ボディは落下防止の為カッチリとはまります  
外す場合は①の隙間に爪や爪楊枝などを差し込み②方向へスライド  
させると外す事が出来ます



外す事が多い場合はフックの引っ掛かりを少し削ってやると外れやす  
くなります